各 位

会 社 名:株式会社 J B イレブン 代表者名:代表取締役社長 新 美 司

(コード番号:3066 名証メイン市場) 問合せ先:執 行 役 員 黒田 博 司

電話番号:052-629-1100

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月14日に公表しました2026年3月期第2四半期(中間期) (2025年4月1日~同9月30日)の連結業績予想値と本日公表の実績値との差異、および2026年3月期通期(2025年4月1日~2026年3月31日)の連結業績予想値について、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績の差異

(1) 第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異(2025年4月1日~同9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主 に帰属する 中間純利益 | 1株当たり 中間 純利益 |
|--------------------------------|-----------|--------|-----------|-------------------------|--------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 4,373 | 百万円 | 百万円 49 | 百万円 | 円 銭 1.48 |
| 今回発表実績 (B) | 4, 362 | 2 | 1 | △44 | △4. 74 |
| 増減額 (B - A) | △10 | △53 | △47 | △57 | _ |
| 増減率(%) | △0.2 | △95. 4 | △96. 2 | | _ |
| (ご参考)前期実績 2025年3月期第2四半期(連結) | 3, 918 | 52 | 62 | 22 | 2. 64 |

(2) 修正の理由

売上高は概ね堅調に推移しました。

利益面では、米や鶏卵等の主要食材をはじめ原材料価格の上昇および2025年4月1日に子会社化した株式会社55styleへのPMI(経営統合作業)に想定以上の経営資源の投入を必要とした結果、各段階利益で前回発表予想を下回る結果となりました。

2. 2026年3月期通期連結業績予想値の修正

(1) 通期連結業績予想値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主 に帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期 純利益 |
|----------------------------|----------|---------|---------|-------------------------|--------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円8,950 | 百万円 215 | 百万円 200 | 百万円 72 | 円 銭 7.68 |
| 今回発表予想(B) | 8, 630 | 55 | 44 | △31 | △3. 34 |
| 増減額 (B - A) | △320 | △160 | △156 | △103 | _ |
| 増減率(%) | △3. 6 | △74. 4 | △78. 0 | _ | _ |
| (ご参考) 前期実績 2025年3月期(連結) | 7, 969 | 184 | 193 | 57 | 6. 53 |

(2) 修正の理由

売上高は、新規出店計画の一部において、中止や開業時期の遅れが見込まれます。また、 足元の消費動向や既存店売上高の推移等を総合的に勘案し、通期売上高を見直しました。

利益面では、売上高の見直しおよび主要食材価格が高止まりしている現状や、人件費の上昇幅がいずれも当初の予想値を上回る見通しであり、これらの外部環境が一段と厳しくなることを踏まえ、各段階利益の予想を上記のとおり修正するものです。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上